

戦略的環境アセスメント： 達成度評価の基準

準	目的
基	<ul style="list-style-type: none"> この一連の基準は、どのようにして効果的な新しいSEAのプロセスを組み立て、どのようにして既存のSEAプロセスの効果を評価するのかわを示すために作成されている。
の	背景
価	<ul style="list-style-type: none"> SEAは近年ホットな話題になってきており、IAIAも会員の支援になるものを提供しようと考えていた。この一連の基準は、1998年、1999年、2000年のIAIA大会の特別ワークショップで議論されたうえ、IAIAのSEAセクションのメンバーと協議しつつ、オランダEIA委員会のロブ・バーヘム(Rob Verheem)がとりまとめたものである。
成	作成経緯
達	<ul style="list-style-type: none"> この文書は3年にわたりIAIAセクションメンバーと、インターネットや年次大会で議論を続けた結果である。SEA達成基準は多くのIAIAメンバーによって使われ、実際に試され、2001年11月にIAIA理事会にて承認されたものである。
ト	国際影響評価学会
ン	<ul style="list-style-type: none"> 本部
メ	1330 23rd Street South, Suite C
ス	Fargo, ND 58103 USA
セ	Phone +1.701.297.7908
ア	Fax +1.701.297.7917
環	info@iaia.org
境	www.iaia.org
的	
略	
戦	
A	
I	
A	
I	

質の高い戦略的環境アセスメント(SEA)は、計画策定者、意思決定者、被影響者に対し、検討事案の持続可能性を伝え、最も良い代替案の立案を促し、意思決定が民主的に行われるよう機能する。そうすることによって、決定事項の信頼性が高まり、事業段階での環境アセスメントの費用対効果が高まり、時間も節約される。このような効果を目指したSEAの達成度評価の基準を以下に示す。

統合的であるか	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な開発の実現を左右する全ての重要な意思決定に適切な環境アセスメントが確実に実施されている 物理生物面、社会面、経済面の相互関係が考慮されている セクターや(行政界にとらわれない)地域の政策段階から事業段階まで、適切な場所で、階層的に(切れ目なく)環境アセスメントが実施されている
持続可能性を高めているか	より持続可能性の高い開発政策や代替案の発案が促されている ¹ 。
焦点がずれていないか	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定や意思決定に対し、十分に信頼性が高く、有益な情報を提供している 持続可能な開発に関係する重要な課題に焦点をあて集中している 対応する意思決定の特性・やり方に合わせ、SEAの形も適切に変えられている。 費用対効果・時間対効果が高くなっている
責任を果たしているか	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的意思決定を行う権限のある機関の責務としてSEAが実施されている 専門性高く、正確で、公平、偏見なく、バランスのとれた形で実施されている 独立した形でチェック・検証が行われている 意思決定で持続可能性についてどの程度考慮されたのかが評価され、文書化されている
参加型になっているか	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定検討の全過程を通して、関心を持つ人々、影響を受ける市民や行政機関に十分な情報を提供し、参加の機会を与えている 人々の提供する情報や心配事項を意思決定の過程で取り込み、明確に文書に記載している。 提供されるすべての情報は、明快でわかりやすいことが要件とされ、十分なアクセスが確保されている
次につながっているか	<ul style="list-style-type: none"> SEAの検討結果が、次の段階の意思決定プロセスの十分に早い段階に提供され、計画立案に確実に利用されている 戦略的意思決定によって実際に生じた影響の情報を十分に提供し、意思決定を修正すべきかが判断され、将来の意思決定に役立てている

1：例えば、リオ1992で掲げられた持続可能な開発戦略や各国の環境政策や環境目標に資するものなど